

# ふくしものがたり

FUKUSHIMONOGATARI

*shimotsuma*



密を避け グラウンドゴルフで 健康づくり

# “防災に関するアンケート” 回答結果のご報告



〈アンケート概要〉 実施期間：2021年1月28日～2021年3月15日

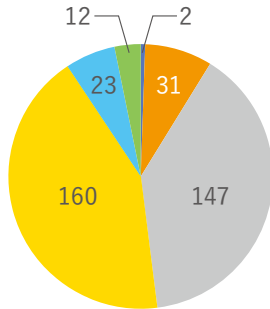
回答数：375名（明らかな重複回答を除いた回答数）

調査協力：NPO法人 セカンドリーグ茨城



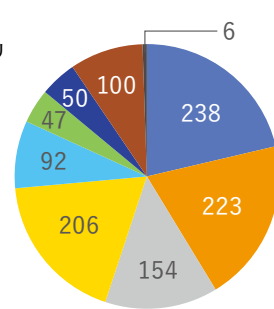
## ご回答いただいた方々の年齢層

- 10歳代
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳以上



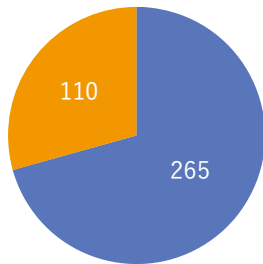
## 災害時の情報収集（複数回答）

- 防災無線
- 下妻市防災アプリ
- ラジオ
- TV
- ツイッター
- フェイスブック
- インスタグラム
- その他のSNS
- その他



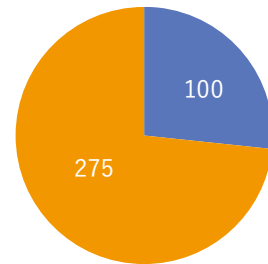
## 洪水ハザードマップを見たことがあるか

- はい
- いいえ



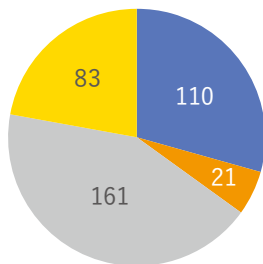
## 下妻市の災害時の避難の考え方を知っているか

- はい
- いいえ



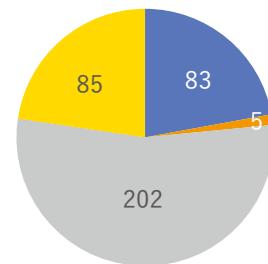
## 水害時の避難先

- 在宅避難
- 避難所以外への避難
- 最寄りの避難所
- 決まっていない



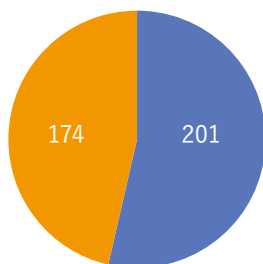
## 大地震時の避難先

- 在宅避難
- 避難所以外への避難
- 最寄りの避難所
- 決まっていない



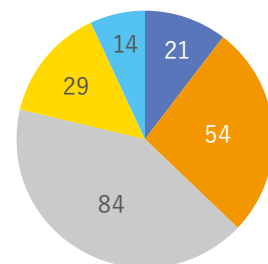
## 非常食・非常時備品の備蓄

- はい
- いいえ



## 約何日分の備蓄をしているか

- 1日分くらい
- 2日分くらい
- 3日分くらい
- 4～7日分
- 1週間以上



### 【備蓄品】

食糧品（米、カップ麺、レトルト、お菓子等）、水、懐中電灯、カセットコンロ、電池、生理用品 等の回答が多数でした。



令和3年3月で10年を迎えた東日本大震災、その後も関東・東北豪雨災害など私たちの住む下妻市をはじめ全国各地で様々な災害が発生しています。

下妻市社協では今後起こりうる災害に備えるため、今年1月から3月にかけて主に子育て世代を対象に“防災に関する意識調査”を実施し、「防災に関して不安に思っていること」などについてご回答いただきました。要約版ではありますが、結果をご報告いたします。

**下妻市社協では、アンケート集計結果をもとに、特に多かったご意見や皆さんが必要とする情報を下妻市消防交通課危機管理室にご協力いただき、別紙『子育て世代が思う“不安なこと”を下妻市の防災担当者に聞いてみました』にまとめました。ぜひご覧ください。**

### \* 別紙の他、みなさんから寄せられたご意見 \*

- 被災を身近に感じておらず、準備不足を痛感しました
- テレビのニュースで災害・避難を目にしているが、自分がその立場になった時必要と不要を冷静に判断できるかが不安です
- 自分自身の準備不足と幼い子を抱えての避難が不安です
- どんな物を備えておけばよいのか、見当違いだったりしないか不安です
- 子供の安否が一番不安です
- コロナ禍での避難所利用は不安があります
- 子供たちの学校が3か所にわかれているので、速やかに安否確認が行えるか、スマホやタブレットにばかり頼る現代で、停電した際の子供の不安感を払拭できるのか、混乱する中冷静でいられるか、理屈ではわかっているも実際におきてみないと対応できるのか不安です
- ひとり親なので、子供たち全員を安全に避難させられるか心配
- 仕事柄、災害対応業務が優先となり、家に子どもだけになってしまうこと
- このアンケートを機にいろいろ家族で話し合ったり、備品をそろえたいと思いました

社協は「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、みなさんから寄せられたご意見をもとに子育て世代の防災”をテーマにしたイベントを企画中です。ご期待ください！

## 災害時の必要な情報の入手先として、平時よりご利用下さい。

- 下妻市防災アプリ（防災・行政情報が取得できます）

\* Lifevisionのインストールが必要です

QRコード (iPhone版) (Android版)



<https://www.city.shimotsuma.lg.jp/page/page003002.html>

- 下妻市防災ポータル

(防災情報をまとめたウェブサイト)

QRコード



<http://bosai.city.shimotsuma.lg.jp/BO-SAI/>

### 防災ラジオについて

市が発信する防災行政無線の放送内容を屋内で聞くことができる屋内受信機「防災ラジオ」

- 下妻市で希望する世帯に有償(2,000円)で7月より配布予定です。詳細につきましては市ホームページをご覧ください。※防災ラジオについては、赤い羽根共同募金配分金が活用されています。



【参考資料】広報しもつまR2年6月号(P8-9掲載)

「災害時の避難を考える～新型コロナウイルス感染症対策とともに～」

<https://www.city.shimotsuma.lg.jp/page/page002982.html>

防災に関するアンケート集計結果(詳細版)は、下妻社協HPからご覧いただけます。

<https://st-shakyo.jp/news/bousai-enquete.html>



# ニュースポーツ用具を貸し出しています

砂沼荘では、高齢者の健康づくりや仲間づくりのために、茨城わくわくセンター（茨城県社協）の支援によりニュースポーツ用具の貸し出しを行っています。（一部、館内でご利用可能です。）グループやサークルでの集まり・イベントの際には是非ご活用ください。

※ニュースポーツとは、競技者の年齢や体力、競技環境に合せ、勝敗にこだわらず、レクリエーションとして楽しく運動できることを目指したスポーツです。

※ユニカールやシャフルボードなど、砂沼荘で使用することが出来ない用具もあります。

①利用対象者：高齢者の団体・グループ・サークル（一部に高齢者が参加する行事も可能です）

②利用料：無料

③貸出方法：貸出希望の方は砂沼荘（44-5577）へ電話でご予約ください。

④用具の種類



NO	用具	数量	概要	NO	用具	数量	概要
1	ユニカール	2	 <p>冬季オリンピック種目のカーリングを屋内で手軽に楽しめるようにと、1979年にスウェーデンで考案されたのがユニカールです。氷の代わりに滑りやすい専用カーペットの上で、天然石の代わりに取っ手のついた合成樹脂製のストーンを使用してゲームを行います。</p>	5	輪投げ	2	 <p>競技は、投げ込み・シングル・ダブルの3種類。「投げ込み」は輪が入ったピンに数字の合計が得点となります。「シングル」はピンの数字の合計が得点となるが、一つのピンに2本の輪が入ってしまうと失格となります。そのため9本全部を投げずに、途中でやめることもできます。</p>
2	シャフルボード	2	 <p>カーリングゲームのように、2チームで得点を競います。マットの得点を狙って、キュー（押し出し棒）で丸いディスクを押し出し、得点を競います。高得点をあげるための戦略やチームワーク、一歩踏み込んで正確にディスクを押し出す動作が、足腰の筋力を強くします。</p>	6	ラダーゲッター	1	 <p>ヒモでつないだ2個のボールをラダー（はしご）に向かって投げ、ひっかけるスポーツ。3本のラダーは、下から上に行くほど、ポイントが高くなります。チーム対抗戦で総合得点を競い合うと、最後の一投まで楽しく盛り上がるはず！</p>
3	ローンボウルズ	2	 <p>芝生の上で、合成樹脂でできた偏心球をころがしてジャック（目標球）に近づくことを競うゲームです。スピードが遅くなるにつれ、大きなカーブを描きながら転がります。ボールが描くカーブと芝の状態を予測しながら、できるだけジャックに近づけて停止させる、難しさと面白さがあります。</p>	7	オーバルボール	1	 <p>卵形の楕円ボールを得点ゾーンに転がしていくゲーム。ルールも判定もカンタンなので、幅広い層の方が楽しめます。4チーム対抗のセットでは、2名から16名まで参加できます。投げ方をアドバイスし合ったり、コミュニケーションを取りながら、和気あいあいと行うことで、脳が活性化します。</p>
4	バグダー	1	 <p>お手玉のようなビーンバッグを傾斜のついたボードに投げ、穴に入れば3点。ボードにのれば1点。シンプルなルールなので、誰でも楽しめます。下手投げなので、肩に負担がかかりません。ヒザを屈伸させたり、足腰の筋肉を使うのが投げる時のポイントです。</p>	8	グラウンドゴルフ（砂沼荘常設）	1	 <p>子どもから大人まで、誰でも気軽にプレーできるスポーツです。専用のクラブでボールを打ち、スタートからホールイン（トマリ）するまでの打数を競います。8ホール回った合計打数で、少ない人が勝ちという、いたってシンプルで分かりやすいスポーツです。</p>

# 赤い羽根共同募金の使い道 ～地域福祉助成事業～

## 事業名 救助ボートの整備による地域防災意識の高揚

団体名 ▶ **山尻自主防災会** 助成額 ▶ **16万円**

赤い羽根共同募金の助成金を活用させていただき、水害に対応する救助用ボートの修繕を実施することができました。救助用ボートが防災のシンボルとして、各自の減災意識の高揚につながっていくと考えております。  
また、救助用ボートのペイントや看板等の作成を子供たちも含め全員で作業いたしました。共同作業をすることで仲間意識を強固にし、避難班の団結や防災意識の持続を図ることができました。ご支援ありがとうございました。



## 令和3年度(2021年度)まちづくり活動に取り組む事業の申請受付中です。

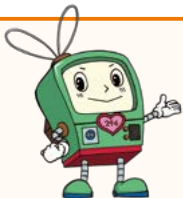
助成額

**20万円(上限額)**

募集メ切(第2期)

令和3年7月30日(金)

詳細につきましては、☎44-0142までお問い合わせ  
いただくか、[下妻市社協ホームページ▶地域福祉▶  
地域福祉助成事業](#)をご覧ください。



## 善意銀行からのお知らせ

善意銀行では、古切手・書き損じハガキ・物品(大人用紙おむつなど)・食料品(レトルト・インスタント食品)を受付けています。

### 「古切手」について

#### ●古切手の活用目的

世界中にはたくさんの切手収集家があります。集められた古切手は収集家たちがコレクションとして買い取ってくれます。世界中のすべての郵便切手が収集の対象となります。印刷面の絵柄(風景、動物、キャラクターなど)を、収集家が美術価値を評価し購入してくれる仕組みになっています。そのため、記念切手などは人気がありますが、汚れや傷みが著しいものは人気がありません。

#### ●社協に持ってきていただくときは…

- 使用済み切手をはがさず、切手の周りを5mm程度残して切ってください
- 外国切手とは分けてお持ちください
- 証紙は対象外です



## 咲かせよう 愛の花

## 善意銀行

ありがとうございました

2021年4月1日～5月31日(順不同・敬称略)

### 預託金

遠藤 美子	10,000円
茨城富士労働組合	5,294円
日本郵便(株) 下妻砂沼郵便局	2,633円
NPO法人 日本入れ歯リサイクル協会	41,723円
匿名	2,200円
匿名	1,198円
匿名	591円

### 物品

#### ●古切手・書き損じハガキなど

上野 博	道川 健
(株)茨城富士	ライナー建設(株)
特別養護老人ホーム 加養の里	

下妻緑化土木	下妻市更生保護女性会
下妻小学校	認定こども園 ふたば文化
認定こども園 下妻いずみ幼稚園	大和保育園
市・保険年金課・市民課・くらしの窓口課・農政課	
下妻市心身障害者福祉センターひばりの	
福祉センター 砂沼荘	割烹 おもだか
匿名 5件	
●生活用品(タオル、紙オムツ、下着、靴下など)	
生理用ナプキン・マスク・アルコール消毒・大人用紙オムツ	
匿名 6件	
マスク・手指消毒用アルコールジェル・ポケットティッシュ	
第一生命保険(株) 渋谷第一営業オフィス	山口和美
歯磨き・歯ブラシ	下妻市更生保護女性会

### フードバンク

●お米、保存食、レトルト食品など  
カップ麺・レトルト食品等・缶ジュース (株)カスミ  
匿名 4件

### お届け先

書き損じハガキ → 未使用ハガキに交換  
大人用紙オムツ → 市内介護施設  
子供用紙オムツ → 市内保育園・幼稚園  
食糧品 → 個人 30件  
→ 児童養護施設 自生園・市内託児施設  
→ もみの木学童クラブ・いずみ学童クラブ・ぶらっとほーむ  
テレフォンカード → 個人 1件





「もったいない」を「ありがとう」へ

ご利用ください

# フードバンク



## フードバンクとは？

まだ食べられるのにさまざまな理由で処分されてしまう食品を、食べる物に困っている世帯や福祉施設に届ける社会福祉活動です。下妻市社会福祉協議会では、(株)カスミと協定を結び、市内のカスミ2店舗・ストッカー2店舗からまだ賞味期限・消費期限前にも関わらず、パッケージの破損や商品の入れ替えなどで廃棄されてしまう食品を提供していただけることになりました。また、市民の皆様からも善意銀行を通して食品の寄付をいただき、食べる物に困っている世帯や福祉施設への提供を行っています。

## フードバンクの流れ



1.カスミ店舗や市民の方から食品を寄付していただきます。



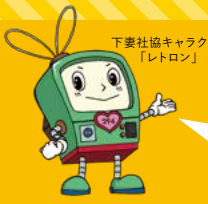
2.ボランティアグループ「かなえたい」が回収、仕分け作業をします。



3.食べ物を必要としている方や施設へ提供いたします。

## 食糧品の寄付をお待ちしています

下妻市社会福祉協議会では、新型コロナウイルス対策として夏休み中の子どもたちへの給食支援のため、要保護・準要保護世帯の方を対象に食糧品の配布(にこにこ294セット)を予定しています。多くの方にお届けできるよう、ご家庭や事業所に提供可能な食品(お米やインスタント食品、レトルト食品等)がありましたらご協力をお願いします。



一人で悩まず  
ご相談ください。

## 下妻市社会福祉協議会

☎:0296-44-0142 ✉:chiiki@st-shakyo.jp



# 【子育て世代が思う“不安なこと”を 下妻市の防災担当者に聞いてみました】

## Q1. 避難所でどのくらいの避難物資を提供してもらえるんだろう？ 赤ちゃんや小さな子と避難した時に、避難所に準備があるのかなあ？？



A) 現在、本市では避難所用物資として、飲料水（500mlペットボトル）のほか、食品類ではカンパン、レトルト粥などを避難される方の人数を想定し、3日分を備蓄しています。

乳幼児用としては、市内のドラッグストア・スーパーマーケット等と災害時の物資の供給について、協定を締結しており、これにより対応を考えております。

本市では、こうした協定の活用を含め、避難所に避難された方々への物資の供給が円滑に実施できるよう、備蓄物資の種類・数量等について今後も検討いたします。

市民の皆様にも、災害時のライフラインの停止に備え、最低でも3日分、できる限り7日分の水・食料、日用品等の備蓄を各家庭で備えていただき、できる限り避難所へも持参願います。ローリングストックなどによる必要物資の備蓄については、本市防災ガイドブックをご参考にすることができます。

<その他の備蓄物資> 毛布、プラ食器、飲料水用袋、段ボールベッド、車イス、発電機、扇風機 など

## Q2. 近くの避難所がコロナ禍で入れなかったらどうしたらいいの？



A) 本市では、令和2年6月に防災に関する各種情報を取得できる「下妻市防災アプリ」の配信を開始しました。防災アプリでは、洪水ハザードマップなどの情報のほか、市内避難所の位置、開設状況なども確認することができます。（防災アプリについては、スマホから「ライブビジョン」で検索してください。）

なお、現在はコロナ禍で3密を避ける必要からより多くの避難先が必要となっており、日頃からの防災の備えにより「在宅避難」及び親戚、友人宅等を含めた「分散避難」の検討をお願いしています。

## Q3. 災害が起きたとき、正確な情報が知りたい。



A) 災害時の情報伝達は大変重要であり、本市災害対策本部から発表する内容については、防災ラジオのほか、消防団車両による放送、防災アプリ（スマホ）、防災ポータル（PC）、メール（ガラケー）、ツイッターなどのSNSにより伝達します。また、重要な情報は、Lアラート（テレビの画面にL字型に表示）でも伝達されますので、的確な情報の取得をお願いします。

## Q4. いつのタイミングで避難すればいいの？



A) 避難情報については、「警戒レベル」に3～5までの数字を付して発令します。

令和3年5月に災害対策基本法の一部が改正され、各警戒レベルの名称が、警戒レベル3は「高齢者等避難」に、警戒レベル4は「避難指示」に、さらに警戒レベル5は「緊急安全確保」に変更されました。

「高齢者等避難」は、高齢者をはじめ、避難に時間のかかる方は避難を開始していただき、警戒レベル4「避難指示」で避難が必要な方は全員避難していただくようお願いします。（これまでの「避難勧告」は廃止。）

避難のタイミングは、水害の場合、河川の水位や市からの情報を防災行政無線や防災アプリなどから的確に取得し、マイ・タイムラインなどを参考に早めに準備を整えてください。

避難は「難」を「避」けることであり、避難所に行くことだけが避難ではありません。指定避難所では、対策を講じても密になりがちですので、安全な親戚・友人宅やホテル・旅館など、自分や家族の避難先を検討くださるようお願いします。

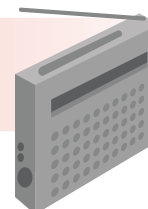
### Q5. 下妻市のハザードマップを配布してほしい。



- A) 本市では、平成30年度に自治区を通じて、「下妻市防災ガイドブック」を各戸1部ずつ配布しました。自治会に未加入の方には、市消防交通課窓口で配布します。

なお、ハザードマップは、市ホームページや防災アプリでも確認・ダウンロードをすることができます。

### Q6. 防災無線が聞きづらい。(防災ラジオがないとダメなの?)



- A) 本市では防災行政無線の屋外子局を、高性能スピーカーへ変更しましたが、場所によっては、環境音や風向き、さらには台風等の荒天時には放送内容の確認が困難となる場合があります。こうした状況から、放送内容を確認できる防災アプリを推奨しつつ、スマホを持たない方々等も考慮し、防災ラジオを希望者に有償配布してきました。今年度よりさらに受信性能の向上したデジタル用280MHz防災ラジオを導入し、有償配布することにしましたので、情報の取得について、再度ご確認くださいようお願いします。

### Q7. 避難所に乳幼児がいる世帯への配慮や、子供が騒いでも大丈夫なエリアがあると不安感が軽減できるんだけどお…



- A) 避難所での生活には何かと心配があるかと思います。

現時点で、特にお子様騒いでも大丈夫という点に特化した指定避難所は設定しておりませんが、各避難所における生活は避難者による共同生活となるため、避難所の運営も避難者自らが行うことが基本とされ、避難者、施設管理者、行政からなる「避難所運営委員会」により運営されることが望ましいと考えております。

避難された際には、この委員会等の運営組織に対して乳幼児用のエリアを設けることなど避難生活上の課題解決について要望して頂くことになります。

なお、過去の災害では、避難所において高齢者や中高生などが幼児等の世話をしてくれたとの好事例もあったとのこと。

いずれにしても、災害時は特に助け合いが必要になります。ご自分で抱え込まずに、積極的に周りの人に相談するように心がけて頂けたらと思います。